

管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	村上体育館他 10施設	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	NPO法人総合型スポーツクラブウェルネスむらかみ	所管課	生涯学習 課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日(5年間)	評価者(課長)	平山 祐子

1 令和6年度の実績

(1)事業実績

利用実績	利用者数(11施設):58,897人、スポーツ事業:18事業実施(参加者数6,256人)
サービス向上の取組	①専門的な知識を有する職員(有資格者)を配置し、ソフト・ハードの両側面から高品質かつ効果的なサービスを提供する。 ②利用者からの意見聴取により、問題点の把握に努め、積極的に業務に取り入れる。 ③ホームページ・電子メール・SNSの活用により、利用者への情報提供の迅速化を図る。

(2)管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (4年度)	前年度 (5年度)	当該年度 (6年度)	合計	備考		
収入	指定管理料	40,347	39,195	38,977	118,519	基本協定額:	195,035	千円
	利用料金	993	1,077	1,124	3,194			
	事業収入	1,478	1,509	1,491	4,478			
	自主事業収入	545	685	559	1,789			
	その他	121	141	257	519			
	収入合計 ①	43,484	42,607	42,408	128,499			
支出	人件費	16,368	16,640	16,676	49,684			
	福利厚生費	2,696	2,546	2,546	7,788			
	事務費	3,156	3,033	2,855	9,044			
	管理費	16,611	15,465	15,483	47,559			
	水道光熱費	4,277	3,568	3,455	11,300			
	修繕料	1,367	1,793	1,318	4,478			
	使用料・リース料	2,512	2,639	2,699	7,850			
	手数料・保険料	285	220	212	717			
	委託料	8,170	7,245	7,799	23,214			
	事業費	925	965	979	2,869			
	自主事業経費	545	685	559	1,789			
	その他	2,885	2,839	3,133	8,857			
	支出合計 ②	43,186	42,173	42,231	127,590			
収支差額(①-②)		298	434	177	909			

2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	◎	施設をより有効に活用するための利用者調整や施設整備に取り組んでいる
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費削減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正

△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある ー:該当なし

3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

(1)指定管理業務実施上の課題	・昨今の急激な最低賃金の引き上げ物価の高騰により、経費の執行について、厳しい状況になっている。特に、臨時職員賃金や委託料の執行において影響を及ぼしている。 ・水銀灯及び蛍光灯の製造の終了に伴い、各施設の照明器具のLED化は、早急に取り組むべき案件ではあるが、村上体育館アリーナをはじめとして、改修費用が高額になる。 また、現状、村上体育館アリーナでは、昇降装置が設置されているが、昇降装置を作動する際、ワイヤーが絡むクセがあり、正常に作動しない。そのため、水銀灯の不点灯の箇所が1~2ヶ所あるものの未着手になっている。 ・岩船運動広場外周フェンスについては、冬期間の強風の影響により著しく破損している。過去には1~2スパンの取り替えを実施していたが、近年は破損箇所が広範囲になっているため、部分的に複数個所の補修を実施している。
(2)課題解決に向けた取組	・業務の実施においては、常に経費の削減を念頭に置き、優先度などを考慮した上で、計画的に進めている。また、状況によっては、年度当初に作成した業務計画や予算書の見直しを適切に実施し、予算の範囲内での経費の適正な執行に繋げている。 ・照明器具のLED化については、予算の範囲内ではあるが、村上体育館事務室(4ヶ所、配線取替工事)及び村上市弓道場の場(3ヶ所、器具取替工事)で実施した。 ・岩船運動広場の外周フェンスについては、1スパンずつの取り替えを基本とするが、破損箇所の範囲によっては、部分部分の補修を検討する。但し、改修に係る費用が高額になり指定管理料(修繕費)では、対応が困難な場合は、市に対して予算要望し、改修を進めていただく必要がある。
(3)その他	①利用者からの主な意見や苦情、対応策 ・テニスの利用団体より、冬期間にテニスができる施設を整備(増加)してもらいたいとの要望があり、上海府体育館にテニスコートラインの設置を実施した。対応の実施後、遠隔地の施設ということもあり、利用状況の変化には繋がっていないが、今後の施設の有効活用や他の施設の代替としての役割に繋がるものと考えている。 ・村上体育館管理ギャラリーの暗幕については、利用者アンケートなどで度々修繕を要望され、都度都度対応を実施している。しかし、経年劣化により生地が弱り、対応実施後すぐに不具合の発生する事態が発生しているため、今後、上段と下段に分けて暗幕を取り替えるなど仕様を変更する必要がある。 ・村上球場のバックネット前の芝生については、グラウンド面の土が痩せてきているため、グラウンド面より高く、段差が生じている。そのため、利用団体より芝生の撤去を要望され、令和7年度に実施予定である。 ・岩船運動広場の松については、10本程度、松枯れが発生している。冬期間には、枯れ枝が周囲の田んぼに散乱し、3月に清掃を実施した。今後、転倒や枯れ枝の飛散の恐れがあるため、伐採する必要がある。但し、伐採費用が高額になるため、市に対して予算要望し、対応していただく必要がある。 ②その他

4 全体的な評価

(1)指定管理者の評価	・社会体育施設全体での利用者数は、昨年度の実績と比べ、1,411名減少したが、利用件数については、525件の増加となった。また、利用料金については、予算に対し、170,572円の増加となった。 ・修繕料については、令和5年度、予算に対して大幅な増加となったが、令和6年度については、不具合の程度・優先度などを考慮し計画的な修繕に努めた結果、予算に対して、ほぼ計画通りとなった。 ・村上市公共予約システムの導入により、施設の利用予約が終日可能になり、利便性の向上に繋がったが、予約方法の違いにより利用者間で不平等が生じないよう、システムを導入する際には、オペレーションの検討・利用者への注意喚起を含めた周知については、慎重に対応した。 ・施設の予約期間前の利用調整の実施やUSEN(音楽配信サービス)を試験導入など新たな取り組みを積極的に取り入れ、利用者にとって使いやすかつ、快適な施設を目標にして業務に取り組んだ。 ・利用者へのサービスの提供及び管理施設の有効活用に繋げるために独自のノウハウを生かし、ニーズにあったスポーツ関連事業を実施している。令和6年度については、猛暑や大雨などの悪天候で中止になった事業があったものの概ね計画通りに実施できた。また、利用者からは、特に顕著な意見はなく、各事業において、生涯スポーツとして、各年齢層に合わせた様々な運動プログラムに集客することができ、提供できていることが利用者からの一定の評価に繋がっていると実感している。
(2)施設所管課の評価	施設管理においては、施設の不具合の程度を把握し、優先順位を立てるなど、計画性を持って取り組んでおり、かつ予算の大幅増減なく、適切に行っていることは評価できる また施設利用においては、公共施設予約システムと利用者台帳とのハイブリッド方式を取り、利用者調整を行い、公平な利用に努めているところは良いが、より効率的な方法を検討してもらいたい 事業においてこれまで培ってきた知識や知見を活かしながら、より地域住民のニーズに沿った運動プログラムを構築、又は拡充するなどして健康増進、運動能力の向上を図ってもらいたい
(3)次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)	R6年度 of 取組を検証し、利用者との良好な関係を保ちながら、適正な施設管理と利便性やサービスの向上に努めてもらいたい また、事業の改善、創意工夫を凝らした事業の企画立案等を行うなど、地域福祉の増進や地域貢献の向上にも取り組んでもらいたい 新たな収入確保と経費節減に努め、適切な管理運営を行うよう努めてもらいたい